陸前高田地域振興株式会社

[本社・工場]
〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字湊206
TEL 0192-55-6150　FAX 0192-55-2145
ホームページ http://rikutaka.co.jp

たかたや一本松店

〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影180 道の駅高田松原内
TEL:0192-22-7700　FAX:0192-22-7704

ふるさと陸前高田

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石50-10
TEL:0192-22-9155　FAX:0192-22-9165

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキを使用しております

CORPORATE PROFILE

Rikuzentakata Regional Development Co.,Ltd

[会社案内]

陸前高田地域振興株式会社

ご挨拶
GREETINGS

希望の地の使命として——

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
弊社は昭和63年に陸前高田市の地域商社として設立されました。これまでたくさんの方々に支えられ歩んできたところでございます。中でも東日本大震災時にはたくさんのご支援励ましを頂き、この感謝の気持ちと共に復興に向け進んで参りました。この間、仮設のトレーラーハウスでの物産販売、本社・工場の再建、道の駅「高田松原」の再開と高田松原海水浴オープン等陸前高田市の賑わい創出と地域雇用の一端を担ってきたところでございます。
これからは皆様に元気な陸前高田市の姿を魅せられる様に、市内の仲間と共に社員一同、日々精進して参ります。今後も、陸前高田地域振興株式会社をお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 佐藤 忠広 Tadahiro Sato

We deliver the taste of Rikuzentakata

岩手・三陸の生産地から
新鮮な自然の恵みと美味しさをお届けします

岩手県最南端に位置する陸前高田市は日本有数を誇る三陸漁場に面し、豊かな水産資源に恵まれた地域です。また岩手県は本州の広大な面積を有し、山岳に囲まれ地域によってさまざまな形態の農業が営まれており、農畜産資源も豊富です。弊社はこれらの水産資源・農畜産資源を生産者・漁協・農協・地域企業と連携し、独自のルートで直接仕入れすることが出来るため、より良質なものをよりリーズナブルな価格にてお客様へご提供することが可能です。また、その資源を利用して自社及び地域企業により加工し、より付加価値の高い商品をご提供いたします。

主な産出物

海産物

●わかめ ●めかぶ
●昆布 ●ほたて
●牡蠣 ●あわび
●いくら ●ふかひれ
●エゾイシカゲガイ
●さんま ●鮭
●ブリ類 ●いか
etc…

農産物

●しいたけ
●きくらげ
●乾燥だいこん
●りんご
●ゆず
●山菜
etc…

畜産物

●いわて牛
●前沢牛
●短角牛
●岩手県産豚肉
●岩手県産鶏肉
etc…

地域企業品

●しょうゆ
●味噌
●地サイダー
●りんごジュース
●ヨーグルト
●ハンバーグ
etc…
※農畜産加工品
※水産加工品

製造部門　Under the thorough quality control
manufacuring sector

現地生産の確かな品質に誇りをもって——

【製造加工工場】

衛生管理

生産から加工まで徹底した衛生管理。常に互いにヒューマンチェックを行い、信頼と安心・安全を提供致します。

- ●労働者の体調、出勤状況管理
- ●労働者の身だしなみ管理
- ●工場内、冷蔵庫内の温度管理

品質管理

徹底した製造ロット毎管理・細菌検査で品質を管理。また、地域企業の細菌検査調査を行ってまいります。

[検査可能内容]
- ●一般生菌数
- ●大腸菌群数
- ●黄色ブドウ球菌
- ●サルモネラ菌
- ●腸炎ビブリオ

品質向上は私たちの永遠のテーマです。賞味期限、産地偽装などによる食品に対する消費者の不安感が増している中、当社工場では、特産の本物の美味しさをより多くの皆様に「安心・安全」にお楽しみ頂けますように、JFS-Bに基づいた衛生管理をおこなっております。自社検査室において常時ロット別に細菌検査を行い品質管理するとともに、製造年月日ごとに区分し在庫管理を行っております。

主要設備

- ●バンド式乾燥機(熱風)
- ●高速裁断機
- ●サイレントカッター
- ●茎わかめスライサー
- ●包餡機
- ●高圧殺菌機(レトルトシステム)
- ●スチームケトル(煮練機)
- ●圧力釜

製品加工　Proud of the taste that some
Product processing

高品質な美味しさを生産地の中心より—

【製造加工例・加工機械】

お客様のニーズに応じた商品を開発。自社工場及びグループ企業による技術力を活用し、製造加工致します。「あのような商品が欲しい」「このような商品がつくれないか?」といったご要望に応え商品を開発致します。自社工場内においては、味付調味からレトルト、包餡、乾燥等さまざまな加工が出来るように設備を導入しております。また、商品開発室を設け、自社工場内にミニチュアの設備を導入しておりますので、少量からの製品試作をすることが可能です。委託生産、サンプル製造等も承っており、地域の製品開発に大きく貢献致します。

商品案内　Taste of attention
original gift

こだわり抜いた
オリジナル商品——

三陸・岩手の食材の美味しさをより多くの皆様にお楽しみ頂けますように、自社独自のルートにて仕入・商品開発をしプライベートブランド(PB)商品として販売しております。地元に誇りを持ち「本物の美味しさ・素材の良さ」を知り尽くした当社が提供する商品を是非一度お試しください。
今後も皆様に喜ばれるオリジナル商品を開発して参ります。

販売体制　We deliver the authentic taste

陸前高田から本物の美味しさを全国へ——

会社概要
Company profile

会社概要

◆名称	陸前高田地域振興株式会社
◆本社所在地	岩手県陸前高田市気仙町字湊 206番地
◆設立年月日	昭和６３年５月３０日
◆資本金	６６,９４５,４００円
◆発行済株式総数	１６５３株
◆従業員数２４名	（令和３年４月現在）
◆主な株主	陸前高田市（筆頭株主）、陸前高田商工会、広田湾漁業協同組合、大船渡市農業協同組合、 酔仙酒造株式会社、陸前高田市観光物産協会、金融機関、市内加工業者、 在京陸前高田市出身者、他
◆取引金融機関	岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、大船渡市農協
◆事業内容	地域資源の商品化に関する商品の研究開発・製造及び生産物の販売事業。 陸前高田市内小売店舗、娯楽施設等の管理運営事業。

沿　　革

昭和６０年	陸前高田商工会を中心にむらおこし事業を実施
昭和６１年	地場産品の開拓事業をスタート
昭和６２年	販路開拓事業スタート
	産業振興懇話会により第三セクター方式による物産振興株式会社設立の提言
昭和６３年　５月	陸前高田地域振興株式会社設立（陸前高田市高田町）　地域物産販売事業開始
平成　３年　７月	道の駅「高田松原」タピック４５へ本社移転、観光協会業務受託。観光案内・地域物産販売店舗オープン
平成　４年　４月	県立高田松原野外活動センター給食業務委託開始
平成　６年　４月	タピック４５内に喫茶カラベルをオープン
７月	海と貝のミュージアム受付業務等受託開始、販売店舗シェルズハウスオープン
平成１０年１０月	資本金５５００万円に増資
平成１１年　４月	陸前高田オートキャンプ場オープン、管理運営業務受託
８月	資本金５６３０万円に増資
平成１４年　３月	キャピタルホテル１０００営業受託
１１月	資本金６６９４万円に増資
平成１８年　４月	陸前高田オートキャンプ場指定管理者として営業を開始
	キャピタルホテル１０００指定管理者として営業を開始
平成１９年１０月	陸前高田市米崎町に工場（包装）開業
平成２２年　７月	ショッピングセンター「リプル」にファミリーレストラン「スリーピース」開店
平成２３年　３月	東日本大震災により被災
	本社仮事務所を陸前高田市横田町に設置。食品卸業務のみ継続しオートキャンプ場は休止、その他業務は廃業
平成２４年　７月	地域物産販売仮設店舗「陸前高田物産センター」オープン
平成２５年　６月	ＥＣサイト「陸前高田のうまいもの たがだ屋」オープン
１０月	本社事務所兼工場を陸前高田市気仙町へ設置、仮事務所より移転
平成２６年　８月	地域物産販売仮設店舗「一本松茶屋たがだ屋」オープン
令和　元年　９月	道の駅「高田松原」リニューアルオープンに伴い、
	施設内に物産販売「たかたや一本松店」オープン（物産販売仮設店舗は閉鎖）
令和　２年　４月	陸前高田地域振興株式会社・株式会社フロムゼロ特定委託業務共同体にて陸前高田市ふるさと納税業務受託